

科目名	高次脳機能障害学 I			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年 通年
【授業の目的・ねらい】 失認・失行・視空間障害等について学び、高次脳機能障害がどのように起こるのか理解する。								
【実務者経験】 言語聴覚士として半田中央病院に勤務、高次脳機能障害・嚥下障害・構音障害分野でのリハビリに從事経験。								
【授業全体の内容の概要】 高次大脳機能障害に関する知識を習得し、検査、評価法を学び、リハビリテーションについて理解を深める。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高次大脳機能障害の概要を把握、理解し、臨床場面での適切な検査・評価等を実施するための基礎を習得する。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	高次脳機能障害基本概念、脳のはたらき、脳機能的領域、側性化							
2	意識障害、注意障害							
3	視知覚障害、視覚認知障害							
4	半側空間無視、地誌的見当識障害							
5	バリエーション症候群、構成障害							
6	失認							
7	失行							
8	記憶障害							
9	前頭葉機能障害							
10	認知症							
11	検査演習(注意障害、前頭葉機能障害、認知症など)							
12	失算、脳梁離断症状							
13	脳外傷、ALSの高次脳機能障害							
14	まとめ、確認テスト							
15	テスト振り返り、過去問出題例							
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 標準言語聴覚障害学 高次脳機能障害学 医学書院								
【準備学習・時間外学習】 授業で行う内容の予習・復習をおこなってください。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。								